

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年 7月17日

| | | | |
|------|--|------|-------------|
| 開催日 | 平成29年 7月12日 | 時 間 | 10:00~12:00 |
| 場 所 | 金沢公会堂リハーサル室 | 出席人数 | 15名 |
| 講 師 | 真田 雅行氏 | 作成者 | 深澤 勝美 |
| テーマ | 第一学習 野島浦鈴木家文書⑧ | | |
| 概要 | <p>1. 乍恐書付以奉申上候 洲崎村船主清左衛門所持の船古くなり用立て申さず候。 極印三か所を切り抜き空船にて下水関板に仕立て 新規造立仕度候。 舟大工は上総国木更津の半蔵に誂え申し候。</p> <p>○金左衛門所持の船 船大工は相模国日向村与左衛門に誂え申し候。</p> <p>1 往来一札の事 浄土宗檀中の者この度 心願により信州善光寺 諸神社 仏閣拝謁ため出立致し候 御関所舟川等相違なくお通し下さ るようお願い申し上げます。途中で相煩いの節は御救い下さい。 万一相果候ば寺院に葬り下さる様お願い申し上げます。</p> <p>1 乍恐返答書以奉申上候 (野島浦名主吉兵衛、船持惣代庄次郎 甚左衛門の返答書) 東海道保土ヶ谷宿旅籠屋惣代八郎右衛門よりの訴えによると 近年東海道の宿場や江戸への旅人まで乗船させているため本道の 旅籠屋茶屋など渡世ならず、船渡し差留めお願い申し上げ度との事 であるが、古来より岸乗は実施してきており、本道往来の旅人の手 引きはしていない。又野島浦の漁師は新肴場御菜浦方にて本材木町 新肴場に肴荷物押送のため日々通船致し居り。 その他いろいろ理由を挙げて保土ヶ谷宿の訴えに反論。</p> <p>1 武州久良岐郡野島浦の現状報告 江戸へ十二里 高 式拾八石 家数 九十式軒中七十九軒 漁業渡世 他農業渡世 商業渡世 (髪結 湯屋) 居酒屋 腰物類売買渡世無</p> | | |
| 次回予定 | 平成30年 7月26日 10:00~12:00 於:金沢公会堂リハーサル室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(中)⑪ | | |